

学校体育館にエアコン設置を求める

『意見書』(共産党提出)が 全会一致で可決!

日本共産党市議団



坂本教育長(左端)への申し入れを行う共産党市議団
(左から、殿村健一、細野龍子、田中美穂、佐々木智子市議、池川友一都議)=10月23日

今夏の猛暑で病院に搬送された熱中症患者数は、高齢者や子どもたちなど昨年の倍になりました。

**猛暑で熱中症多発
避難施設も深刻に**

**災害対策、生活保護制度、
中学校全員給食、
障がい者交通無料券など
市民の暮らしを守る提案示す**

2018年第3回定例会が8月27日から9月27日の会期で行われました。日本共産党は、災害対策など市民の暮らしを守る提案を行い、奮闘しました。共産党市議団が提出した「東京都に公立小中学校施設へのエアコン設置補助事業の期間延長と体育館へのエアコン設置補助を求める意見書」を全会一致で可決させることができました。2017年度一般・特別会計決算認定に対して、共産党は、市民犠牲の行革と大型開発優先の内容であるとの理由で反対しました。

とくに、豪雨災害を受けた西日本地方などの避難施設では、エアコンがないために大きな影響が現れました。

**一般質問で、体育館にエアコン
高齢者世帯に補助を要求**

共産党市議団は、一般質問(殿村健一市議)で猛暑対策として、学校体育館へのエアコン設置と高齢者世帯へのエアコン購入補助実現を求めました。学校教育部長は、「新しい課題である」と、いきいき健康部長は、「先進市に学び、検討する」と答えました。

**共産党都議団奮闘
都知事、体育館への
設置補助約束**

共産党都議団は、条例提案や代

町田市民 文学館

“存廃”→継続へ

文教社会常任委員会で「町田市民文学館のあり方見直しの検討状況について(中間報告)」の報告がありました。報告では、短期的な方向性について「現有施設で文学館事業を継続する」と結論づけ、文学館は「市民が文学に触れ合うきっかけ、文学の扉となり、文学を市民に伝え、豊かな心を育む場所となる」などの存在意義が示されました。「市民文学館の存続を求める請願」が7千名以上の賛同署名を得て、全会一致で採択されたことなど、市民の運動が市政を動かした結果です。ただ、中・長期的方向性や管理運営のあり方については今後の検討課題とし、生涯学習審議会で審議され、10月中に答申を出す計画です。今後も引き続き、文学館の充実のために市民とともに奮闘します。



市民文学館と「みつはしちかこ展」(2018.12.24まで開催)

表質問で、体育館へのエアコン設置を要求しました。小池都知事は、補正予算を編成するなど緊急対応をし、区市町村を支援していくと答弁しました。

**共産党市議団と池川都議が
市長、市教育長に申し入れ**

共産党の4人の市議と池川友一都議は、10月23日、石阪丈一市長と坂本修一教育長に、「小中学校体育館へのエアコン設置に関する申し入れ」を行いました。対応した坂本教育長は、「国・都の動きを注視しながら検討したい」と前向きな回答でした。



熱中症緊急対策に関する請願 共産党のみ賛成

請願・意見書表題	共産党	自民党	公明党	市民クラブ	保守の会	諸派	結果
熱中症緊急対策に関する請願	○	×	×	×	×	×	不採択
東京都に公立小中学校施設へのエアコン設置補助事業の期間延長と体育館へのエアコン設置補助を求める意見書	◎	○	○	○	○	○	採択
CV22オスプレイの横田基地配備と飛行訓練中止を求める意見書	◎	×	×	○	×	×	否決
中央省庁など公的機関における「障害者雇用」の不正問題について調査の徹底と再発防止の第三者委員会設置を求める意見書	◎	×	×	○	△	×	否決
消費税の10%増税の中止を求める意見書	◎	×	×	△	△	×	否決

提出-○ 賛成-○ 一部賛成-△ 反対-×